



マリソル6月号でキレイ髪 ストレートが紹介されました!

※11
サロンで心地よく
過ごしてもらうため
工夫があちこちに



1人のスペースが広めにとられているうえ、壁の下のテーブルはなんとエクステンション仕様! PCも余裕でのせられる大きさ。個人用DVDプレイヤーまで完備されている

※10
ゴールはもうすぐそこ。
異なる薬剤で再結合

よりよく仕上げの薬剤塗布。熱傷を受けている1層もぐったりだが、根元まで見通すことなく薬剤を塗布しつづけるスタイリストにとっても大変な作業だ



うねりの強い
部分は念入りに



目ざしたいのは、あくまで自然で自分本来の髪質がよくなるストレートヘア。ここでのブローが仕上がりを左右するといっても過言ではないので、ふんわり髪全体が立ち上がるようていねいにブロー

※9
中間のブローが
ふんわり仕上げの
ポイントになる!



※8
万能なアイロン型
超音波機器が大活躍



目には見えないけれど、1秒間に約10万回も振動するというオゾン化アイロン。パーマ液やトリートメント剤を髪の内側へ無理なく浸透してくれる便利アイテムだ。熱はまったく出ないで済みの心配なし

「でダメージが抑えられます」。この行程をクセの度合いによって、3〜5回繰り返していきます。ちなみに私は3回繰り返しました。理想の仕上がりを目ざすべく途中のブローも超念入り

一度洗流したら、次は「髪を再結合する」ステップへ突入。まずはぬれた髪を理想のシルエットに仕上げるそう、ブローしていきま(※9)うねりの強い内側は、特に念入りに。前髪はつむじに沿って自然に流れ、毛先はゆるっと内側に入った丸みのあるパーフェクトなヘアスタイルに仕上げてもらいました。そしていわゆる2液を塗布(※10)。こちらも別液具はなく、髪にもとてもマイルドな処方。ブロー後の髪に2液を塗りながら「目ざしたいヘアシルエットを覚えさせよう」ところで、この行程まで要した時間はざつと2時間以上(長!)。通常のパーマやカラーリングに比べ、時間がかかるイメージのあるストレートパーマ。この所要時間の長さも、せつかな1層にはネックでしたが「クレアトゥールウチノ表参道」にも優しい工夫が(※11)。ゆったりしたプライベートスペースのおかげで、長時間の施術もストレスなく過ごせるのはうれいすね。DVDを観たり、メールを打ったり、あともちろん取材をしたリしながら、いよいよフィニッシュへ向かってもうひと階入張り!

2液を塗り終えたらしばらく浸透させ、最後にシャンプー&コンディショナーで洗浄です。「こちらでは、ざつとハンドブローで乾かしただけで完成するヘアスタイルを提案しています。『澤さんの髪はクセが相当あったので、完璧なカットをしてもブローだけでキマる、というのは正直むずかしいかったですね。そこでストレートパーマを提案しました(と飯田さん。そうなんです! 今まで何人もヘアスタイリストに「このクセは生かしたほうがいいよ」とすすめられてきたため、ぐつとストレートパーマを我慢してきましたが、結果、クセを生かしたことなく一度もない。そうでしょうね(笑)。正直申し上げてサロンのクオリティと、自宅でも再現できるクオリティはやはり違いますから」

パーマとは思えない
至極自然なストレートに

そう言いながら飯田さんは、まずハンドブローだけで施術後のヘアの扱いやすさを証明(※12)。そのあくまでナチュラルなストレート具合に、I澤は感激。パーマをかけることでべたんとした部分でも自然に立ち上がり、毛先もいかにも! なストレートではなく、ゆる〜と内巻きになっていてはありませんか(※13)。そしてその手ざわりにも感動。ハリとコシがきちんとあり、髪一本一本が健康なのがわかります。1週間後、別のサロンでヘッドスパを受けたのですがセラピストに「いい髪質ですね」とほめられてしまったほど。それほど仕上がりが自然なんだなと改めて実感。そして何よりうれいのは、朝のブロー時間がぐんと短縮されたこと(※14)。理想の髪質を手に入れ、これまでクセ毛だから、と制限されていたヘアスタイルにも挑戦できるようになったこと。重荷化するうねりに手を焼いていた皆さん。美髪の近道はこちらですよ!

SALON DATA

クレアトゥールウチノ 表参道



「キレイな髪があってこそ、カットもスタイリングも決まる」をモットーに、髪を根本から美しく、健康的にすることにこだわったサロン。今回1層が稼働したのは「キレイ髪ストレート」(¥25,000)。年長さまによって価格が異なる。ヘアエステのバイオフィラシク、各種トリートメントにも様々なお楽しみが

●東京駅前各駅特等車5の10の1 GYUSEI
●03 3495 6182 11:00~20:00
不定休 http://www.creatur.com.jp
自然光がたっぷり入る気持ちよい店内。オリジナルのヘアケアシリーズも大好評発売中

※14
ドライヤーをかける
時間が減るぶん
髪の傷みも減って

ドライヤーの熱をあてる時間が短縮され、ストレートにするためのヘアアイロンを使う必要もなくなったので、髪がぐんぐん元気に。おしろパーマをかけたほうが髪にとってプラスな結果に



※13
ドライに仕上げててもよし
ツヤ髪を目ざしてもよし



ハンドブロー式で仕上げると、毛束感を生かしたカジェアルなヘアスタイルに(右)。ざつと乾かしたあと、ブラシでブローをしながら仕上げると髪がツヤツヤに(左)。いずれもとてもまとまり感の上。朝陽が降りしきる日も髪はとは無縁だった!

※12
ブローしながら
ちよいテクも
教えてもらえる

わかっていながらついつい書いてしまうが、ブロー前にクリームやオイルなど保護剤を必ずつけること。また乾かす時、毛先の束を指に巻きつけ! 回転しながらクセづけると、自然な内巻きに



指の使い方に注目!



※3 強度のクセゆえ ストレートパーマが必要という結果に



飯田弘樹さん
サロンの距離も長いベテラン。髪に精通にも詳しいので、悩みにジャストな解決方法を提示してくれるのがなんとも頼もしい。髪が細いので、ストレートパーマをかけると食毛になってしまふのでは？という薄心の心配に「逆に、ハリとコシがアップするはずですよ」

※2 雨の日に目立つ 顔まわり&内側の強いクセが悩み



湿度が高くなるとキューティクルの間から水分が入り込み、まっすぐな状態を保てなくなる。ダメージヘアはキューティクルに傷があるので、水分の出入りが激しくなりよけいにおよぶのだ

※1 その日の湿度で 髪型が変化する 両親譲りのクセ毛



クセ毛は優性遺伝。父親がクセ毛、母親は直毛でも、子供のクセ毛率は？割以上なのだとか。4歳と2歳の孫っ子たちのくるくるヘアを眺めながら、遺伝の神秘を噛み砕ける1冊であった

帰ってきた! マリソル アンチエイジング 探検隊 hyper! ハイパー 第6回

本格的な梅雨の到来に備えて “美髪仕込み” の巻

心地よい晴天が続く5月。うねり毛アラフォーにとっては、まとまり髪がキープできる最高の季節が……。にっくき梅雨はもうそこ。早めに手を打たねば!



撮影/永野信里
イラストレーション/小畑裕美子
取材・文/伊澤実佳子

突然ですが、皆さん。ひそかに自信をもっているテクニクはありますか? 一澤の場合は「セルブプロローのテク」(笑)。わが家は両親ともかなり強いクセ毛の持ち主ゆえ、私を含め妹も弟も当然クセ毛。朝の食卓では「今日は雨が降りそうよ」「傘忘れないようにしなさい」というふうには、髪はポリニウム具合を湿度計代わりにして、天気を予測し合ったものです(※1)。こんな筋金入りのクセ毛ですから、物心ついた時から、くるくるドライヤーはお友達。数十年前かけ、プロも思わず舌を巻くセルブプロローテクニクを遊いできました。が、そんな熟練テクをもつていても、太刀打ちできない季節、それが梅雨! 一歩外に出た途端、長時間のブロローもむなしくヘアはモワツと膨張し、顔まわりの髪の毛が縮れる(※2)、クセ毛にとっては受難のシーズンが、もうすぐそこまで……。

本格的な梅雨がやってくる前になんとかせねば! と駆け込んだのが「クレアトールウチノ表参道」。クセ毛やダメージヘアに悩む女性が絶大な信頼を寄せると噂の、老舗サロンです。まずはカウンセリング(※3)。スタイリストの飯田さんは「実は先天的に完全な直毛の人はいません。誰もがうねりを持つてはいるんですよ。そのうねりを根本のハリやコシで抑えられていると、まとまるんですね。ただ、加齢とともに髪のハリコシが失われ、だんだんとうねりをカバーしきれなくなっていくんです」。確かに、そもそもクセ毛の「一澤ですが、アラフォーになってからさらにうねり度が加速してきたのは事実。さらに白髪を染めはじめたからは、カラーリングのダメージもあって、ますますまと

まりにくく(涙)。「ダメージで髪が細くなる」と、やはりうねりをコントロールできなくなっていくます。きちんと髪の内側から修復して、栄養で満たしてあげることでハリコシが復活し、クセも扱いやすくなるはず。一澤さんはかなりクセが強いので、トリートメント効果の高いオリジナルストレートパーマで髪の内側を補いながら、うねりを減らしていくのがよさそうです(※4)。うねりの原因をしっかりと学んだところで、いざシャンプー台へ!(※5)

髪をぬらしたら、まず「髪の結合を切る」ステップに入ります(※5)。うねるようには結合されている状態を一度まっすぐに戻すわけですが「通常はアルカリ性の薬液を使うために髪にかなりのダメージを与えます。こちらでは自汗開発した弱酸性の薬液を使用しているのので、髪力傷みを抑えられますよ」。施術中もツンとした刺激臭がしないし、髪本来の流れに忠実に塗っていくことで不自然さのない仕上がりに。聞いてはなかった一澤。以前挑戦した時、伸びて来た地毛とパーマ部分の毛がうまくなじまず、頭頂のシルエツトが四角くなられた経験が(※6)。薬液を塗り終わったら湯洗(※7)。その後、秘密兵器が登場(※8)。このオリジナルの特殊アイロンで薬をより細かくして、髪の内側に入れ込んでいくというわけです。「よくストレートパーマでは、同じような形状の高温アイロンを使いますが、このアイロンは高温にはならないの

「ダメージで髪が細くなる」と、やはりうねりをコントロールできなくなっていくます。きちんと髪の内側から修復して、栄養で満たしてあげることでハリコシが復活し、クセも扱いやすくなるはず。一澤さんはかなりクセが強いので、トリートメント効果の高いオリジナルストレートパーマで髪の内側を補いながら、うねりを減らしていくのがよさそうです(※4)。うねりの原因をしっかりと学んだところで、いざシャンプー台へ!(※5)

髪をぬらしたら、まず「髪の結合を切る」ステップに入ります(※5)。うねるようには結合されている状態を一度まっすぐに戻すわけですが「通常はアルカリ性の薬液を使うために髪にかなりのダメージを与えます。こちらでは自汗開発した弱酸性の薬液を使用しているのので、髪力傷みを抑えられますよ」。施術中もツンとした刺激臭がしないし、髪本来の流れに忠実に塗っていくことで不自然さのない仕上がりに。聞いてはなかった一澤。以前挑戦した時、伸びて来た地毛とパーマ部分の毛がうまくなじまず、頭頂のシルエツトが四角くなられた経験が(※6)。薬液を塗り終わったら湯洗(※7)。その後、秘密兵器が登場(※8)。このオリジナルの特殊アイロンで薬をより細かくして、髪の内側に入れ込んでいくというわけです。「よくストレートパーマでは、同じような形状の高温アイロンを使いますが、このアイロンは高温にはならないの

「ダメージで髪が細くなる」と、やはりうねりをコントロールできなくなっていくます。きちんと髪の内側から修復して、栄養で満たしてあげることでハリコシが復活し、クセも扱いやすくなるはず。一澤さんはかなりクセが強いので、トリートメント効果の高いオリジナルストレートパーマで髪の内側を補いながら、うねりを減らしていくのがよさそうです(※4)。うねりの原因をしっかりと学んだところで、いざシャンプー台へ!(※5)

※7 ほかほかの遠赤外線が薬剤の浸透をサポート



↑前髪部分はプラスチック製のカバーとタオルで顔を隠しながら湯洗。ここまで徹底することで、施術後前髪が自然に下りるようになる。一澤さん、思わず涙に誘われてしまうくらい、ほかほか温度が

※6 ストレートパーマの欠点を見事に解決した最新版

トリートメント効果の高い薬剤を使いながら、ヘアをかなり細かくブロックし時間をかけていないに伸ばしていく。本来の毛流れに決して逆らわないように塗布しているから、ニュアンスを残した仕上がりに



※5 うねりの原因となる髪の結合を特別な薬液で分解

髪をぬらすと余計に目立つうねりの強いうねり。通常パーマをかけると、カラーなどは、潤滑剤の上あけるように言われるが、こちらで使用している薬剤はマイルドなもので1週間以内のカラーリングもOK! 髪を洗ってもなかなか落ちない、独特のパーマ液臭もほとんどない



傷みにくい秘密が!

※4 シャンプー時の水質にもこだわり傷みを軽減

髪内側の栄養は、水にぬれただけでも流出してしまいます。また水道水に含まれるマグネシウムやカルシウムが髪に付着すると、薬剤の浸透を妨げるので、軟水を使用!

